



令和8年 3月 31日

岩倉市議会議長

須藤智子様

日比野 走

研修受講報告書

このことについて、下記のとおり受講しましたので報告いたします。

記

- 1 実施日 令和8年2月20日(金)
- 2 研修先 リファレンス西新宿 地方議員研究会 質疑の組み立て方
- 3 復命事項
別紙のとおり

議員になったら確認したい役所の計画の見方と質疑の組み立て方

地方議会研究会 井川晃一講師

総合計画＝自治体の最上位計画

その下に、行財政改革、都市、福祉、教育、教育委員会という、複数人の合議体に責任はある。
→平成 25 年時に、大津市で責任所在の在り方を問われることに→。『教育大綱』の作成がな
がれになるように。

予算編成権は首長 人事事務には教育長、業務執行には委員会委員

行政計画

法定根拠(作成する義務)のあるもの

・地域防災計画、都市計画、教育大綱、介護保険事業計画(3年に一回、改定される。7段階
の人が基準)こども子育て事業計画(待機児童)

・自治体独自の計画 総合計画、地区防災計画、立地適正計画。男女共同参画基本計画

・国民市民に対する拘束力 土地区画整備事業計画 市街地再開発事業計画(人口減少想定
し、市町インフラのコンパクト化目指す。…土地収用法 採決を経たものには立ち退き強制
が可能)

議員に求められるPDCA

P…総合計画や都市計画審議会で作成される。議員としては、どの段階で意見を
持ちかけるのかを判断するのが大事。

D…事業やイベントなどの現地を踏んだうえで、事実確認を取ったか。

C…満足度調査は「聞き方」で変わる。もとより達成可能な目標設定だったか。違う指標が
もとめられるのでは。これらの前提を疑おう。

A…審議の中で、行政評価や新年度予算に矛盾がないかを突き止める。改善した形跡のない
前年踏襲の予算にも警戒。

『一定の成果は出てます』→数値で出せよ

『市民の声がある』→調査方法は？



根屋川での事例

・ 8時～8時の開庁時間延長はコスト削減に寄与しないのでは？

- ・公文書開示請求(首長の手前、出したくても出せない場合に有効)

→行政がたてた計画、行政評価の矛盾を主張するのは議員の役目。

行政の本音

- ・議員さん 恥かかせてはいけない→あとで厄介になるから
- ・(市長の判断が必要なのを)勝手に答弁しない
- ・断定的な答弁は避ける リクエストには抽象的に答弁
- ・シンキングタイムを与えない簡潔な答弁する職員は優秀

役所の財政の見方と質疑の組み立て方

- ・借金のやりくり 会社ではどちらでもないが 官庁収支では赤字黒字が左右される
- ・減価償却 会社では赤字 官庁収支では、どちらでもない。

単年度収支だけで「よしあし」語るな

- ・前年度までの繰越金が収支になる(年度初めから下駄いてるとも言える)
- ・借金したらプラス。返したらマイナス。貯金はマイナス。切り崩したらプラス。
- ・実質単年度収支 …財政調整基金や地方債の要素を引き戻し、調整した後の収支
- ・実質収支…前年度以前からの収支累積。必ず黒字であるべき。
- ・実質収支比率…自治体の標準財政規模に対する実質収支の割合 3～5%が望ましい

地方財政で減価償却費を考えるには？

→施設更新のための計算に求められる可能性がある(特に上下水の管路等)

慢性赤字の原因

経常収支

- ・職員定数の抑制 地方自治法 172 条 3 項で、臨時、非常勤を除く職員定数を「条例」で定める。スリム化するなら「退職不補充」が基本。(それでも行財政改革に係る中長期計画を敷いていこう。)
- ・委託費(性質別歳出上、物件費)も要確認。近年は高くなる影響も。

所感

行政計画は、まず法定計画と独自計画の役割や位置づけを丁寧に整理したうえで、その構造を理解することが重要である。そのうえで、PDCA サイクルの各段階において、設定された指標が本当に妥当なのか、また調査手法が目的に適しているのかを継続的に検証する視点が欠かせない。特に、行政評価の場面では「一定の成果があった」「市民の声を踏まえた」などの抽象的な表現が多用されがちであるため、裏付けとなる数値根拠や調査方法の妥当性を必ず確認する必要がある。こうした検証を怠ると、評価が慣習的に繰り返されるだけになり、実態を反映しない硬直化が生じることのないよう、この講義をもとに各種審議の準備などの際に意識していく。また、寝屋川市役所の開帳時間延長など講師が経験された寝屋川市議の体験も市政と向き合う上で興味深く聞くことができた。